

令和4年度第1回大垣市障がい者の暮らしを支える協議会議事要旨

令和4年5月20日（金）

13：30～14：30

大垣市役所8階 大会議室

出席者：22名 欠席者：5名

1. 健康福祉部長あいさつ
2. 令和4年度 大垣市障がい者の暮らしを支える協議会 各部会の年間計画
（各部長より説明）
 - ・各部会の開催予定日、テーマ、目的、協議事項、対象者等の年間計画
3. 障害者就労施設等からの物品等の調達について
（事務局より説明）
 - ・令和3年度の実績および令和4年度の調達目標について
 - ・調達の推進方法について
4. 障害者差別に関する相談事例や合理的配慮事例の報告について
（事務局より説明）
 - ・障害者差別解消法に関する相談事例や取組状況の報告
 - ・合理的配慮事例の報告
5. 日中サービス支援型共同生活援助事業所の実施状況等の報告について
（日中支援型障がい者グループホーム管理者より説明）
 - ・日中支援型障がい者グループホーム「綴」の概要説明

【質疑・意見】

- ・今回開設した日中支援型障がい者グループホームは1号館との報告であるが、2号館の開設予定はあるのか。
- 2号館の開設予定は今のところないが、要望があれば検討していきたい。

・令和３年度第１回開催の協議会全体会において、日中サービス支援型共同生活援助事業所の開設についての議題に対し、地域に開かれた活動を行ってほしいなどの意見があった。地域との連携として、何か行っている活動などはあるか。

→ 現時点ではコロナ禍ということもあり、活動自体は自粛している。夏祭りなどのイベントを地域の住民の方と連携してやっていきたいと検討している。住宅地の中にグループホームがあるため、地域の住民の方達にはおおむね受け入れていただいております、本事業についても理解をいただいているので、今後も地域での活動について様々なことを計画していきたい。

・訪問看護サービスとグループホームとが連携して行っているようなことはあるか。

→ 月２回ほどグループホームに訪問していただいて、バイタルチェックや薬の仕分けなどをしていただいている。現状、グループホームの利用者数が少ないため（定員２０名中４名利用）、連携は限定的であるが、利用者数の増加にあわせて協力を要請していきたい。

・見学を申し込んだ際、快く了承をいただき、またとてもあたたかく迎えてくださったことがとても印象に残っている。重度の障がいをお持ちの方で、中々受け入れ先が見つからなかった際に、体験利用という形で受け入れていただいたことがあり、十分とはいえない社会支援の中で、フットワークが軽く、とても心強く感じた。

・車で来所する際、ナビで検索したが表示されなかった。また、看板が見えづらいため、たどり着くのが困難だった。施設のことで、グループホームの近くに住む知人に聞いてみたが、どういう施設で、どういう方が入所しているのかわからないとのことだった。このようなことから、地域住民の方達への認知度が低かったり、交流があまりないことが懸念される。

→ 看板については、建物の入口付近までいかないと見えにくいので、視認性の高いものに変えるよう検討したい。また、地図については、現状、ナビやGoogleなどのサービスで住所表示されないの、地図サービス等の登録をし改善していきたい。定期的にグループホームの見学会などを行い、地域住民の方達に情報提供していきたい。

- ・グループホームは施設ではなく、家であるという考え方もあるため、あえて看板を設置しないところもある。利用者に、他の住民と同じように普通に暮らしてもらうための理解も必要であると感じる。

- ・強度行動障がいのある方に対しての対応として、どのように考えているか。

→ 以前に強度行動障がいの方を受け入れたことがあるが、住居地が変わったことで、事前に聴取した情報以上の強度行動障がいが発症したことがあり、最終的に受け入れをお断りした事例がある。他の利用者への暴力や器物破損に及ぶこともあるので、受け入れするどうかの判断は慎重にしていきたい。